

DENON[®]

DCD-SX11

SUPER AUDIO CD PLAYER

取扱説明書

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」
とともに大切に保管してください。

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露（つゆつき）について	4
換気についてのご注意	4
移動させるときのご注意	4
付属品	5
乾電池の入れかた	6
リモコンの使いかた	6
特長	7
高音質	7
多彩な機能	8
各部の名前	
フロントパネル	9
ディスプレイ	11
リアパネル	12
リモコン	13
本機の操作	13
アンプの操作	16

接続のしかた

アンプを接続する	18
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	19
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	20
パソコンと接続する	21
USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する	22
オーディオタイマーに接続する	24
電源コードを接続する	25

再生のしかた

基本操作	27
電源を入れる	27
再生するメディアモードを選択する	28
ディスプレイの明るさを切り替える	28
ピュアダイレクトモードに切り替える	28
スーパーオーディオCDの最優先再生レイヤーを切り替える	29
CDおよびスーパーオーディオCDを再生する	30
CDおよびスーパーオーディオCDを再生する	30
再生モードを切り替えて再生する（PLAY SELECT）	32
データCDまたはデータDVDを再生する	33
ファイルを再生する	34

iPodを再生する	36
iPodの曲を再生する	37
オペレーションモードの設定 (On-Displayモード)	38
iPod/iPhone の充電	39
USBメモリーを再生する	40
USBメモリーに保存されているファイルを再生する	41
本機をD/Aコンバーターとして使用する	43
パソコンの音楽を再生する (USB-DAC)	44
デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)	52
タイマー再生をおこなう	53
タイマーを使用して再生する	53

設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する	54
オートスタンバイモードをオンにする	54
オートスタンバイモードをオフにする	54

困ったときは

目次	55
こんなときの解決方法	56
故障かな？と思ったら	57
保証と修理について	63

付録

再生できるメディア	65
ディスク	65
USBメモリー	67
ファイルの再生順番について	68
フォルダとファイルについて	69
D/Aコンバーター	69
メディア使用時のご注意	70
ディスクの入れかた	70
メディアの取り扱いについて	71
ディスクのお手入れのしかた	71
用語の解説	72
登録商標について	74
主な仕様	75
索引	78

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルをはずしてからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

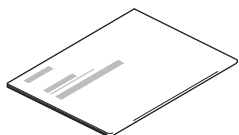
- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

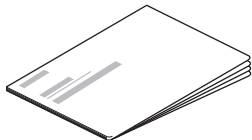
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

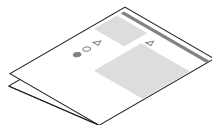
① かんたんスタートガイド



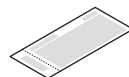
② 取扱説明書（本書）



③ 安全にお使いいただくために



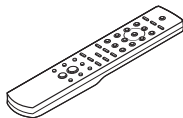
④ 保証書



⑤ 電源コード【本機専用】



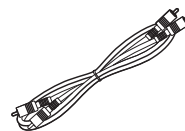
⑥ リモコン（RC-1179）



⑦ 単4形乾電池（2本）

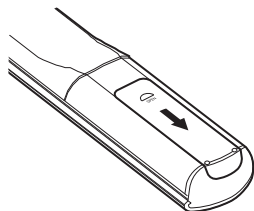


⑧ 音声ケーブル

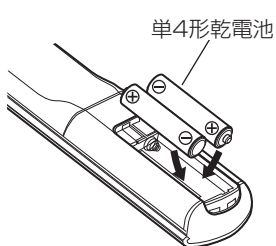


乾電池の入れかた

- ① 裏ぶたを矢印の方向へスライドして取り外す。



- ② 乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



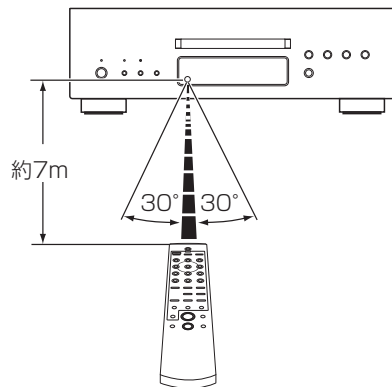
- ③ 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

高音質

・ハイビット・ハイサンプリングを実現したAdvanced AL32 Processing Plus

デノン独自のデータ補間アルゴリズムによるハイビット、ハイサンプリング化を実現しました。

16bit の音声信号を32bit 精度へハイビット化、さらに44.1kHz のサンプリング信号を16 倍にアップサンプリングすることで、より滑らかな波形再現を実現します。また、データの補間は、補間ポイントの前後に存在する多数の点からあるべき点を推測し、より原音に近い理想的な点を補間します。デジタル録音時に失われたデータを精巧に復元することで、歪みのない繊細な描写、正確な音の定位、豊かな低域、原音に忠実な再生を実現しています。

・理想的なクロックを実現するDAC Master Clock Design

本機に搭載している半導体の性能を最大限に発揮するためには、半導体動作のクロック信号の高精度化が重要です。

周波数の変位である位相雑音を大幅に削減した新開発の発振器を周波数別に2個搭載し、かつてない安定した精度のクロックを獲得しています。D/Aコンバーターには、マスタークロックを直近に配置することでジッターの発生を抑え、忠実な再生を実現しています。

・Advanced S.V.H. MechanismとDirect Mechanical Ground 構造

新開発のAdvanced S.V.H. Mechanismには、アルミダイカストトレイなどメカニズムの各パーツをそれぞれの目的に沿った異なる材料で構成。それにより、高質量による制振性の向上や共振点の分散化など、高いレベルの制振性を実現。メカを低重心化することで、ディスクの回転による内部から生じる振動を低減させることはもちろん、外部からの振動にも強い構造を実現しています。

また、電源トランスをフットの直近に配置するなど、内部外部の振動による影響を徹底的に排除するDirect Mechanical Ground構造を採用し、不要な振動の伝搬とノイズ流出を徹底的に防止しています。

多彩な機能

- **DSDファイルの再生に対応したUSB-DAC機能を搭載**

DSD信号（2.8/5.6/11.2MHz）やPCM信号の384kHz/32bitまでサポートしたUSB-DAC機能を搭載。パソコンに保存しているPCM信号やDSD信号の音楽ファイルをUSB接続で本機に入力すると、本機に搭載しているD/Aコンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- **D/Aコンバーターとして使用可能（COAXIAL/OPTICAL）**

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機のD/Aコンバーターでアナログ変換して出力できます。

- **USBメモリー（MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD）やiPod®/iPhone®の再生に対応**

USBメモリーまたはiPod/iPhoneをUSB端子（タイプA）に接続することにより、USBメモリーやiPod/iPhoneに保存した音楽ファイルを再生できます。

- **ディスクに記録したハイレゾリューション音源の再生に対応**

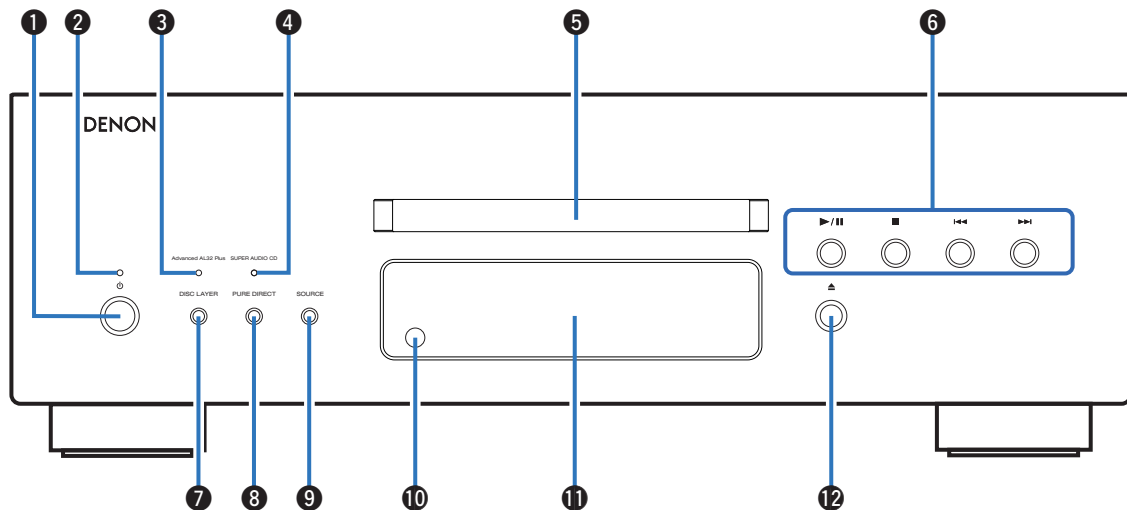
DVD-R/-RW/+R/+RWやCD-R/-RWに記録したMP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSDファイルを再生できます。

- **スタンバイ時の消費電力の低減**

環境を考慮し、スタンバイモードでの消費電力を0.1W以下に低減しています（オートスタンバイモード オン時）。

各部の名前

フロントパネル



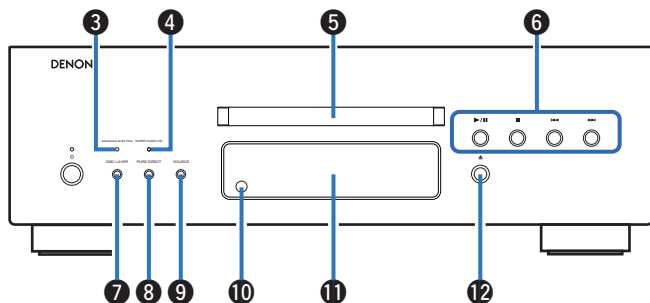
① 電源ボタン (⏻)

電源をオン/オフします。( 27ページ)

② 電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

- 電源オン時：緑色
- スタンバイ時（オートスタンバイモード “オフ” ）：赤色
- スタンバイ時（オートスタンバイモード “オン” ）：消灯
- スタンバイ充電モード時：橙色
- 電源オフ時：消灯



③ Advanced AL32 Plus表示

本機が次の状態のときに、Advanced AL32 Processing Plusが動作し、点灯します。

- CDを挿入しているとき
- データディスクを挿入しているとき
- スーパーオーディオCDのレイヤーモードを“CD”に設定しているとき
- メディアモードが“iPod/USB”、“USB-DAC”、“COAXIAL”、“OPTICAL”のとき



- DSDファイルまたはDSD信号を再生した場合、Advanced AL32 Processing Plusが停止し、消灯します。

④ スーパーオーディオCD表示 (SUPER AUDIO CD)

本機が次の状態のときに点灯します。

- スーパーオーディオCDを挿入しているとき
- スーパーオーディオCDのレイヤーモードを“STEREO”または“MULTI”に設定しているとき

⑤ ディスクトレイ

ディスクを挿入します。

⑥ システムボタン

再生に関する操作をします。

⑦ ディスクレイヤー切り替えボタン (DISC LAYER)

スーパーオーディオCDの再生レイヤーを切り替えます。

([図29ページ](#))

⑧ ピュアダイレクトボタン (PURE DIRECT)

ピュアダイレクトモードを切り替えます。

([図28ページ](#))

⑨ メディアモード切り替えボタン (SOURCE)

再生するメディアモードを選択します。([図28ページ](#))

⑩ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。([図6ページ](#))

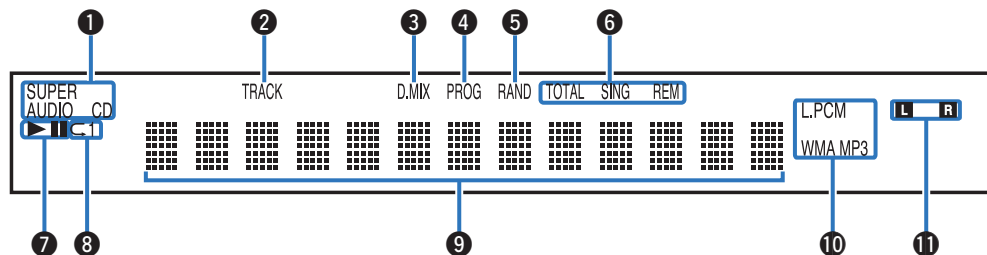
⑪ ディスプレイ

各種情報を表示します。([図11ページ](#))

⑫ ディスクトレイ開閉ボタン (▲)

ディスクトレイを開閉します。

ディスプレイ



① ディスクメディア表示

再生ディスクの種類を表示します。

② トラック番号表示 (TRACK)

トラック番号の表示中に点灯します。

③ ダウンミックス表示 (D.MIX)

スーパーオーディオCDのマルチチャンネルエリアを再生しているときに点灯します。

④ プログラム表示 (PROG)

プログラム再生モードに設定すると点灯します。

⑤ ランダム表示 (RAND)

ランダム再生モードに設定すると点灯します。

⑥ 残り時間表示

TOTAL REM：全曲の残り時間を表示中に点灯します。

SING REM：再生曲の残り時間を表示中に点灯します。

⑦ 再生モード表示

▶：再生中に点灯します。

II：一時停止中に点灯します。

⑧ リピートモード表示

リピートモード の設定に合わせて点灯します。

⑨ インフォメーションディスプレイ

再生時間表示など、各種情報を表示します。

⑩ 再生フォーマット表示

- WAV、MP3またはWMAのファイルを再生したときに点灯します。

- D/Aコンバーター機能で、リニアPCMを再生したときに点灯します。

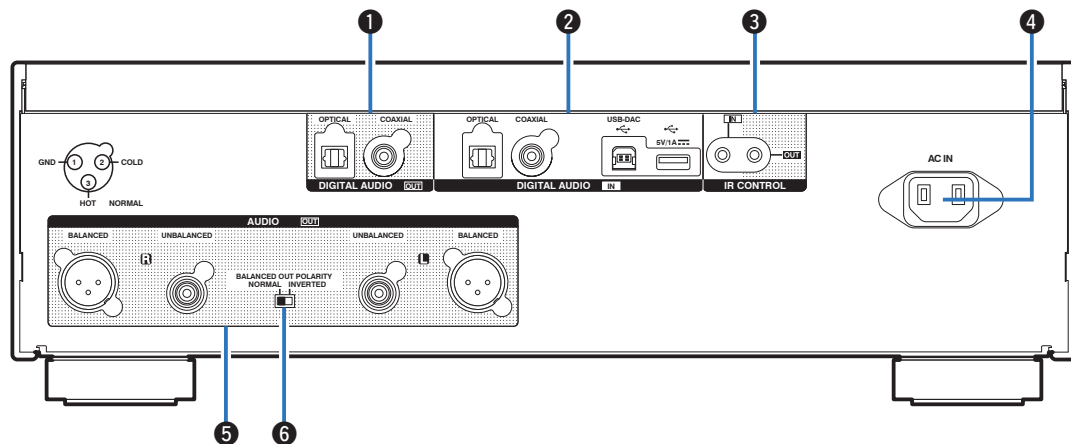
⑪ 再生信号チャンネル表示

各チャンネルの表示は出力信号に応じて点灯します。

L：フロント左

R：フロント右

リアパネル



① デジタル音声出力端子 (DIGITAL AUDIO OUT)

デジタル音声入力端子付きのAVレシーバーやD/Aコンバーターを接続します。(☞ 19ページ)

② デジタル音声入力端子 (DIGITAL AUDIO IN)

デジタル音声出力端子 (同軸/光) 付きの機器やUSBメモリー、iPod/iPhoneに付属のUSBケーブル、パソコンを接続します。

- ・「デジタル音声出力端子付きの機器を接続する」
(☞ 20ページ)
- ・「パソコンと接続する」 (☞ 21ページ)
- ・「USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する」
(☞ 22ページ)

③ IRコントロール入出力端子 (IR CONTROL IN/OUT)

IRコントロール端子付きのデノン製ネットワークオーディオプレーヤーを接続します。

④ ACインレット (AC IN)

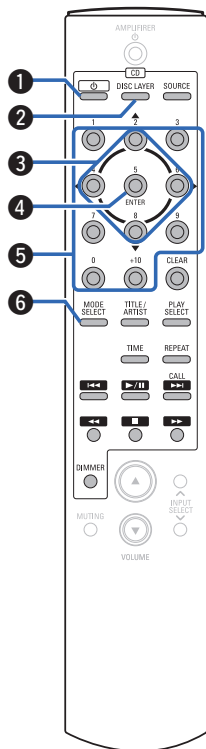
電源コードを接続します。(☞ 25ページ)

⑤ アナログ音声出力端子 (AUDIO OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(☞ 18ページ)

⑥ バランス出力位相切り替えスイッチ

バランス出力の位相を切り替えます。(☞ 18ページ)



本機の操作

① 電源ボタン (⏻)

本機の電源をオン/オフ（スタンバイ）します。

- ・「電源を入れる」 (P.27ページ)
- ・「オートスタンバイモードを設定する」 (P.54ページ)

② ディスクレイヤー切り替えボタン (DISC LAYER)

スーパーオーディオCDの再生レイヤーを切り替えます

- ・「スーパーオーディオCDの最優先再生レイヤーを切り替える」 (P.29ページ)
- ・「CDおよびスーパーオーディオCDを再生する」 (P.30ページ)

③ カーソルボタン (△▽◀▶)

項目を選択します。

④ エンターボタン (ENTER)

選択した内容を確認します。

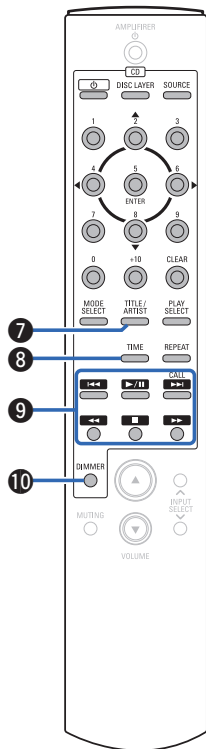
⑤ 数字ボタン (0～9、+10)

数値を入力します。

⑥ 再生モード選択ボタン (MODE SELECT)

再生モードを選択します。

- ・「再生範囲を切り替える」 (P.35ページ、P.42ページ)
- ・「オペレーションモードの設定 (On-Displayモード)」 (P.38ページ)



⑦ テキスト表示切り替えボタン (TITLE/ARTIST)
再生中の曲情報などをディスプレイに表示します。

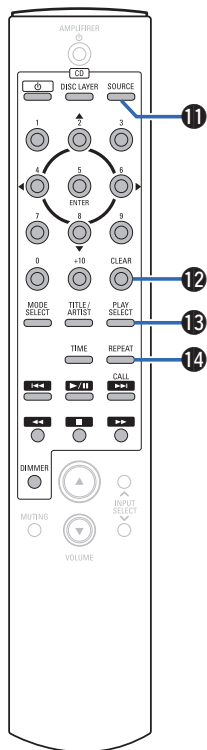
⑧ 時間表示切り替えボタン (TIME)

- 再生中の時間情報を切り替えます。
- 再生中のファイルのフォーマットを表示します。

⑨ システムボタン
再生に関する操作をします。

- スキップボタン (⏮、⏭)
- 再生/一時停止ボタン (▶/⏸)
- コールボタン (CALL)
プログラムした曲順を確認します。 (📖 32ページ)
- 早戻し/早送りボタン (⏮、⏭)
- 停止ボタン (■)

⑩ 明るさ調節ボタン (DIMMER)
• ディスプレイの明るさを調節します。 (📖 28ページ)



⑪メディアモード選択ボタン (SOURCE)

再生するメディアを選択します。(P.28ページ)

⑫クリアボタン (CLEAR)

プログラムの登録を取り消します。(P.32ページ)

⑬再生モード選択ボタン (PLAY SELECT)

ランダム再生とプログラム再生モードを選択します。

(P.32ページ)

⑭リピートボタン (REPEAT)

リピート再生をします。

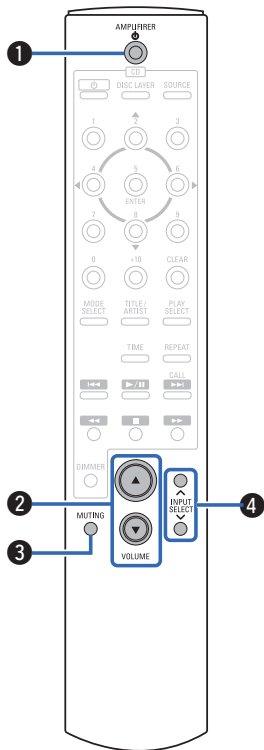
アンプの操作

デノン製アンプを操作できます。

- ① 電源ボタン (AMPLIFIER ㊦)
- ② 音量調節ボタン (VOLUME ▲▼)
- ③ 消音ボタン (MUTING)
- ④ 入力ソース選択ボタン (INPUT SELECT)

ご注意

- 一部操作ができない製品もあります。



接続のしかた

アンプを接続する (18ページ)

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する (19ページ)

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する (20ページ)

パソコンと接続する (21ページ)

USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する
(22ページ)

オーディオタイマーに接続する (24ページ)

電源コードを接続する (25ページ)

ご注意

- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

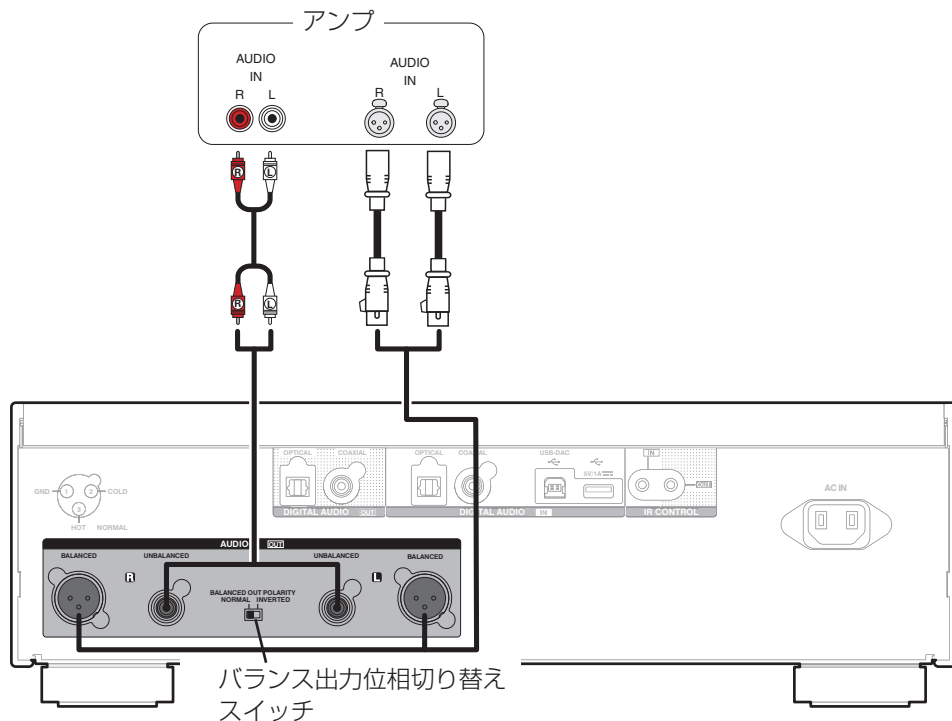
■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

音声ケーブル (付属)	
バランスケーブル (別売り)	
光伝送ケーブル (別売り)	
同軸デジタルケーブル (別売り)	
USBケーブル (別売り)	

アンプを接続する

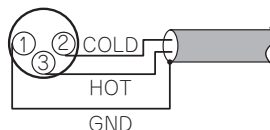
本機には、アンバランス端子の他にバランス端子を搭載しています。バランス端子は3ピン構造のため、音声信号を平衡信号で伝送でき、外来ノイズの影響を少なくすることができます。また、着脱ロック機構のためコネクタ部のぐらつきが少なく、信頼性が高いといった特長があります。



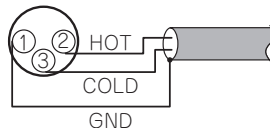
■ バランス端子の位相について

バランス端子の接続は、信号の位相により2とおりあります。

- ・スイッチ：NORMAL側
(② PIN=COLD ③ PIN=HOT)



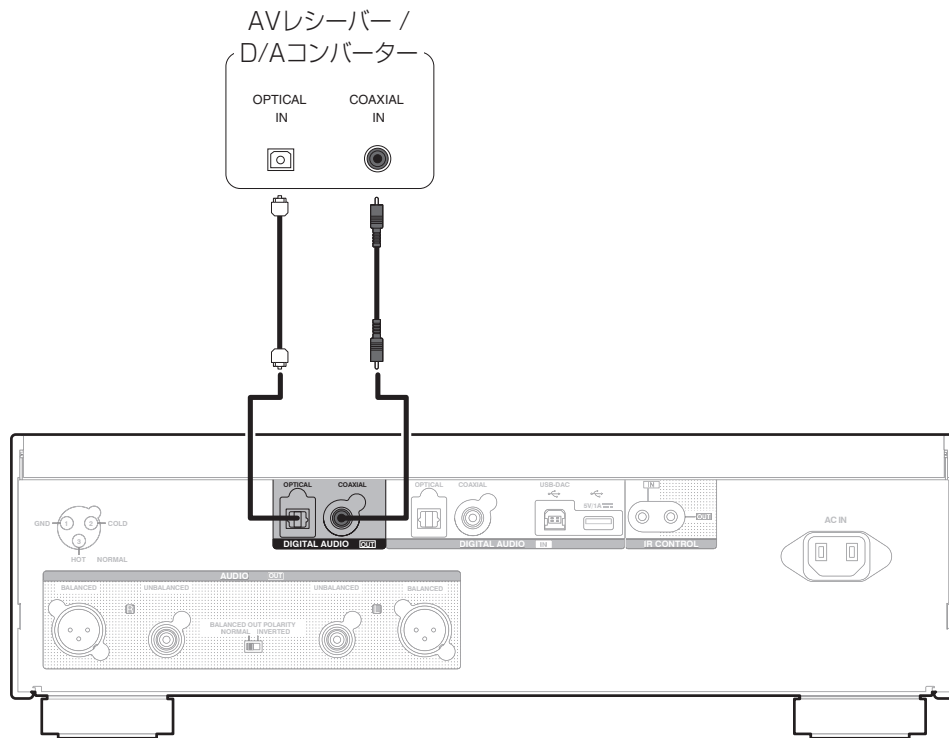
- ・スイッチ：INVERTED側
(② PIN=HOT ③ PIN=COLD)



電源を入れる前に接続するアンプの位相に合わせて、バランス出力位相切り替えスイッチを設定してください。

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機からデジタル音声信号を出力し、接続した機器のD/AコンバーターでD/A変換をおこなって再生する接続です。



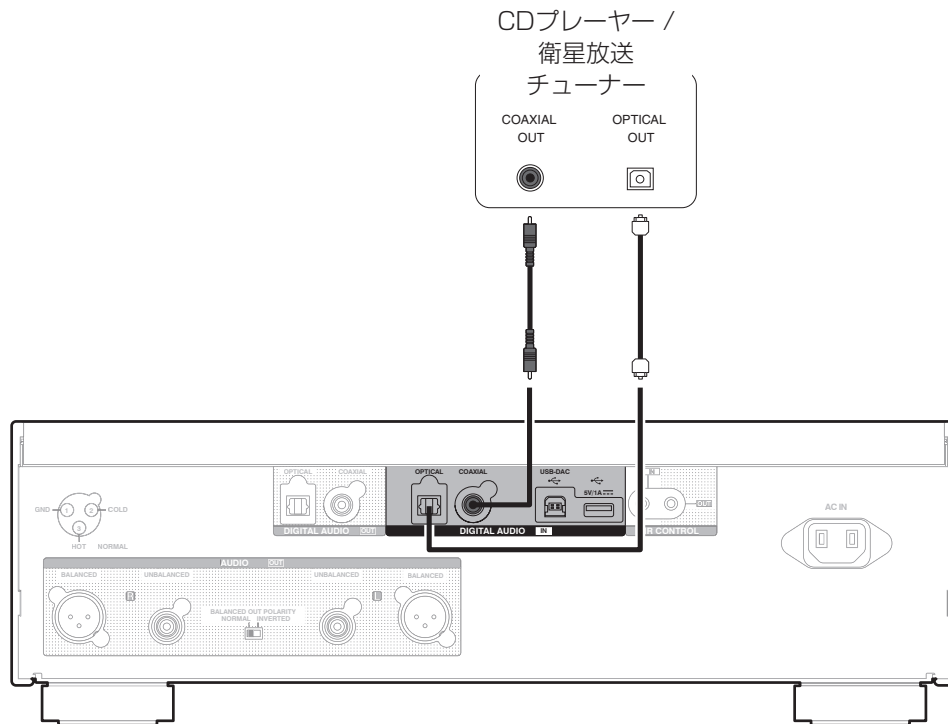
ご注意

- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーおよび USB-DAC (DSD 信号、サンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号)、そしてサンプリング周波数が 32kHz のファイルの再生中は、デジタル音声出力を停止します。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

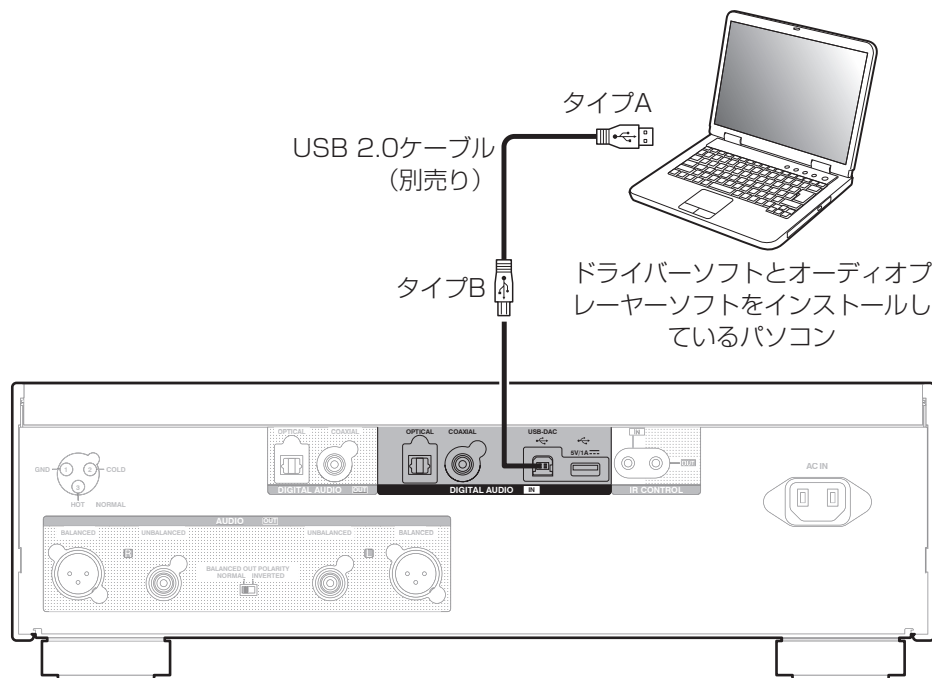
本機にデジタル音声信号を入力し、本機のD/AコンバーターでD/A変換をおこなって再生する接続です。

（「本機をD/Aコンバーターとして使用する」（[P.43ページ](#)））



パソコンと接続する

本機のUSB端子（USB-DAC、タイプB）とパソコンをUSBケーブル（別売り）で接続すると、パソコンの音楽データを本機のD/Aコンバーターで再生できます。（「本機をD/Aコンバーターとして使用する」（[P.43ページ](#)））



- 本機とパソコンをUSB接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。（「専用ドライバーソフトのインストール（Windows OSのみ）」（[P.45ページ](#)））
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトのDCD-SX11のページからダウンロードしてください。

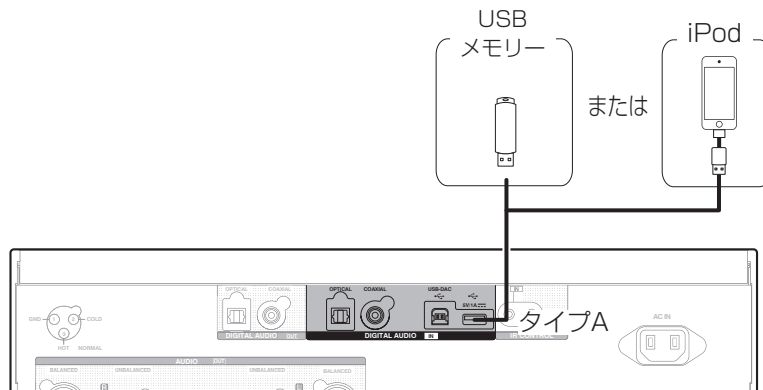
ご注意

- パソコンとの接続には、3m以下のケーブルをご使用ください。

USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する

iPod/iPhoneやUSB メモリー内の音楽を楽しむことができます。

- 本機とiPod/iPhoneを接続するときは、iPod/iPhoneに付属のUSBケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPodを再生する」(P.36ページ)または「USBメモリーを再生する」(P.40ページ)をご覧ください。



- すべてのUSBメモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB接続タイプのポータブルHDDで、ACアダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、ACアダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USBメモリーはUSBハブ経由では動作しません。
- 本機のUSB端子（タイプA）とパソコンをUSBケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、USB-DAC端子（タイプB）と接続してください。（「パソコンと接続する」（P.21ページ））

■ 対応しているiPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
7th generation
16GB

• iPod touch



iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB



iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

• iPhone



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s
16GB 32GB 64GB



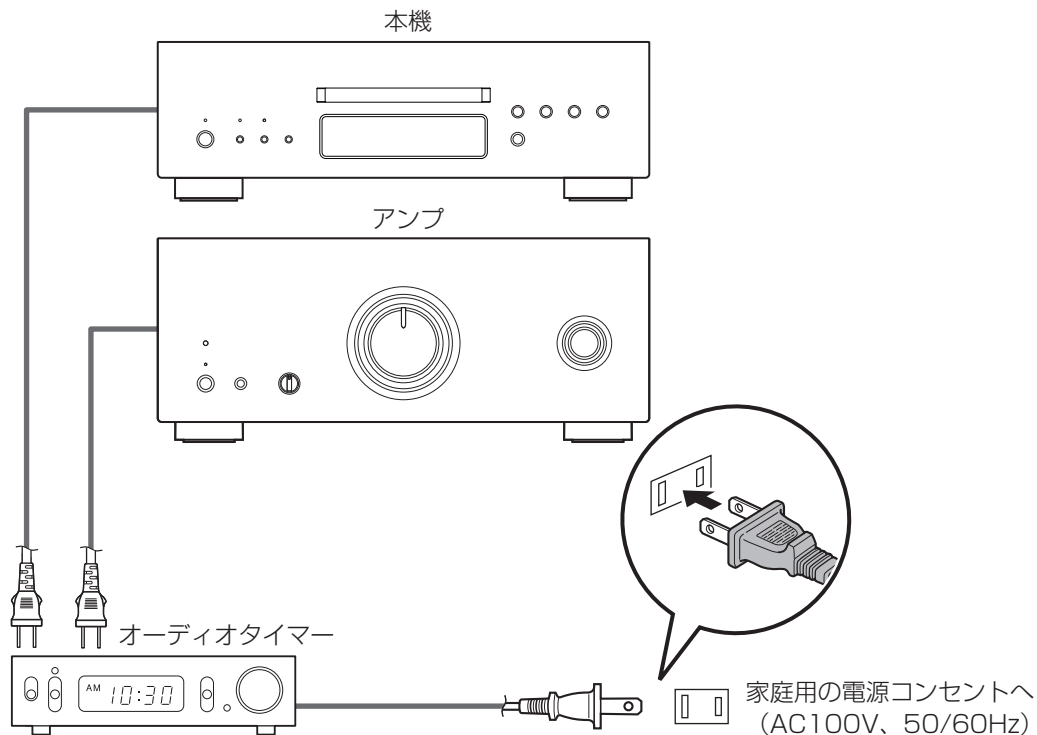
iPhone 6
16GB 64GB 128GB



iPhone 6 Plus
16GB 64GB 128GB

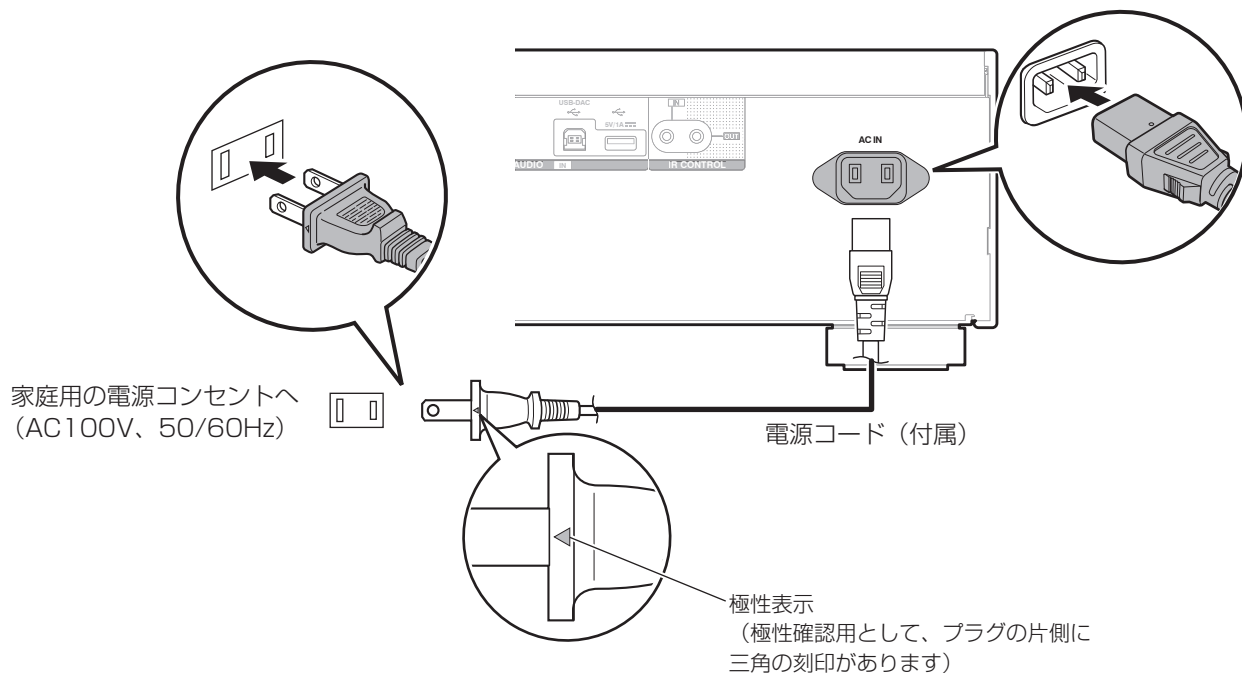
オーディオタイマーに接続する

本機にアンプおよびオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生ができます。（[P.53](#)ページ「タイマー再生をおこなう」）



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



- 付属の電源コードには、極性を表示しています。お好みの音質になるようにコンセントへ差し込んでください。

再生のしかた

電源を入れる (🔍 27ページ)

再生するメディアモードを選択する (🔍 28ページ)

ディスプレイの明るさを切り替える (🔍 28ページ)

ピュアダイレクトモードに切り替える (🔍 28ページ)

スーパーオーディオCDの最優先再生レイヤーを切り替える
(🔍 29ページ)

CDおよびスーパーオーディオCDを再生する (🔍 30ページ)

データCDまたはデータDVDを再生する (🔍 33ページ)

iPodを再生する (🔍 36ページ)

USBメモリーを再生する (🔍 40ページ)

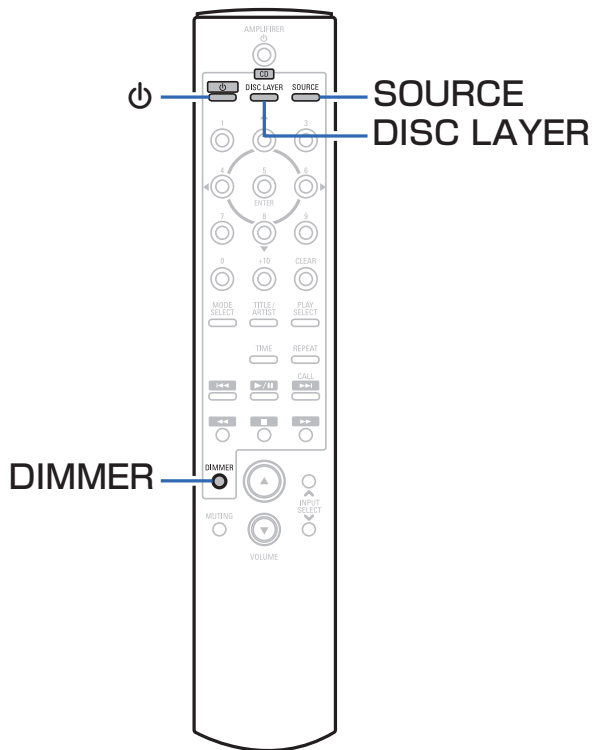
本機をD/Aコンバーターとして使用する (🔍 43ページ)

パソコンの音楽を再生する
(USB-DAC) (🔍 44ページ)

デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)
(🔍 52ページ)

タイマー再生をおこなう (🔍 53ページ)

基本操作



電源を入れる

- 1 本体の  を押して、電源を入れる。
電源表示が緑色に点灯します。



- スタンバイ状態から再び電源を入れるときは、リモコンの  を押してください。

■ 電源をスタンバイにする

- 1  を押す。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、本体の  を押して電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

再生するメディアモードを選択する

- 1 SOURCEを押して、再生するメディアモードを選ぶ。

DISC：ディスクを再生するときに選択します。

iPod/USB：iPodやUSBメモリーを再生するときに選択します。

USB-DAC / COAXIAL / OPTICAL：

本機をD/Aコンバーターとして使用するときを選択します。



- 本体のSOURCEを押しても、メディアモードを選択できます。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを4段階で調節できます。

- 1 DIMMERを押す。

ピュアダイレクトモードに切り替える

ピュアダイレクトモードにすると、ディスプレイを消灯してデジタル音声出力を停止します。これにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

- 1 本体のPURE DIRECTを押す。
ディスプレイが消灯し、ピュアダイレクトモードになります。
 - 解除する場合は、もう一度PURE DIRECTを押してください。

ご注意

- ピュアダイレクトモードでは、ディスプレイの明るさを切り替えることができません。
- 再生中の場合にのみ、ディスプレイを消灯します。

スーパーオーディオCDの最優先再生レイヤーを切り替える

ディスク挿入後に優先的に再生するレイヤーを設定できます。

- 1 SOURCEを押して、再生するメディアモードを“DISC”にする。
- 2 ディスクが入っていないことを確認する。
 - ディスク挿入後にレイヤーの切り替えをおこなうと、そのディスクの再生レイヤーは切り替わりますが、最優先再生レイヤーの設定は変わりません。
- 3 DISC LAYERを押して、再生するレイヤーを切り替える。

STEREO（お買い上げ時の設定）：

スーパーオーディオCDの2チャンネルエリアを再生します。

MULTI：スーパーオーディオCDのマルチチャンネルエリアを再生します。また、マルチチャンネルを2チャンネルにダウンミックスして再生します。

CD：スーパーオーディオCDのCDレイヤーを再生します。



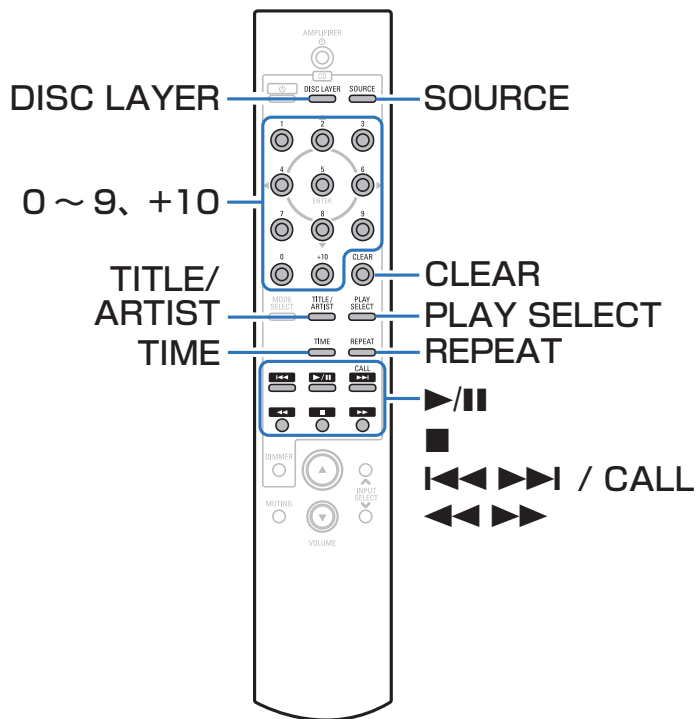
- 本体のDISC LAYERを押しても、再生するレイヤーを切り替えることができます。
- 最優先再生レイヤーを設定後、ディスクを読み込んだときに再生するレイヤーを表示します。
- 最優先に設定したレイヤーを含まないディスクを読み込んだとき、自動的に他のレイヤーを表示します。
- この設定は、ディスクトレイの開閉や電源のオン/オフをおこなっても解除されません。設定を変更したい場合は、設定し直してください。
- ディスク挿入後や、ディスプレイに“OPEN”を表示しているときは、最優先再生レイヤーの設定はできません。
- 最優先再生レイヤーに設定したエリアやレイヤーがないディスクのレイヤー検出順位は、次のとおりです。

① STEREO ② MULTI ③ CD

CDおよびスーパーオーディオCDを再生する

CDおよびスーパーオーディオCDを再生する

- 1 ディスクを入れる。(参照 70ページ)
・▲を押して、ディスクトレイを開閉します。
- 2 SOURCEを押して、再生するメディアモードを“DISC”にする。(参照 28ページ)
- 3 スーパーオーディオCDを再生するときは、DISC LAYERを押して再生レイヤーを切り替える。(参照 29ページ)
- 4 ▶/|| を押す。
ディスプレイの ▶ 表示が点灯し、再生をはじめます。



操作ボタン	機能
▶/■	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/次の曲の先頭にスキップ
⏪ ⏩	早戻し/早送り
0~9、+10	曲の選択
PLAY SELECT	ランダム再生とプログラム再生を切り替えます。 • プログラム再生は停止中に設定できます。
REPEAT	リピート再生 • 全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
TIME	時間表示の切り替え • 再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。 • 本機の表示時間は1秒未満を切り捨てて計算しているため、実際の時間と異なる場合があります。
TITLE/ARTIST	スーパーオーディオCDに収録されているテキスト情報をディスプレイに表示します。

ご注意

- ディストレイにはCD 以外の物を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源がスタンバイの状態、ディストレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

■ ディスプレイの表示を切り替える

TITLE/ARTISTを押す。

メディアに記録されているテキストを表示します。

- メディアによって表示する内容が異なります（テキスト情報はスーパーオーディオCDでのみ表示します）。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!"#\$%&';<>?@\[_`|{}~^'()*+

,.-./= (空白)

■ 再生できるディスクについて

「ディスク」(P.65ページ)をご覧ください。

■ 好きな曲を聴く（ダイレクト選曲）

1 0~9、+10を押して曲を選ぶ。

【例】

4曲目 : 数字ボタンの4を押します。

12曲目 : 数字ボタンの+10と2を押します。

再生モードを切り替えて再生する (PLAY SELECT)

通常の再生の他に、プログラム再生とランダム再生の再生モードの切り替えができます。

1 停止中にPLAY SELECTを押して、再生モードを選ぶ。

オフ：通常の再生モードです。

Program：お好みの順序で再生します。

Random：曲順をランダムに再生します。



- 再生中にREPEATを押すと、選択した再生モードでくり返し再生します。

■ プログラム再生のしかた

1 停止中にPLAY SELECTを押して、再生モードを“Program”にする。

2 0～9、+10を押して、曲番を選ぶ。

【例】

3曲目、12曲目の順にプログラムしたいときは、3を押したあと、+10と2を続けて押します。

3 ▶/IIを押す。

プログラムした順番に再生をはじめます。



- プログラム再生は、最大20曲まで設定できます。

□ プログラムした曲順を確認する

停止中にCALLを押す。

押すたびにプログラムした順で曲番を表示します。

□ プログラムした最後の曲を取り消す

停止中にCLEARを押す。

押すたびに最後にプログラムした曲を取り消します。

□ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中にPLAY SELECTを押す。

■ ランダム再生のしかた

1 停止中にPLAY SELECTを押して、再生モードを“Random”にする。

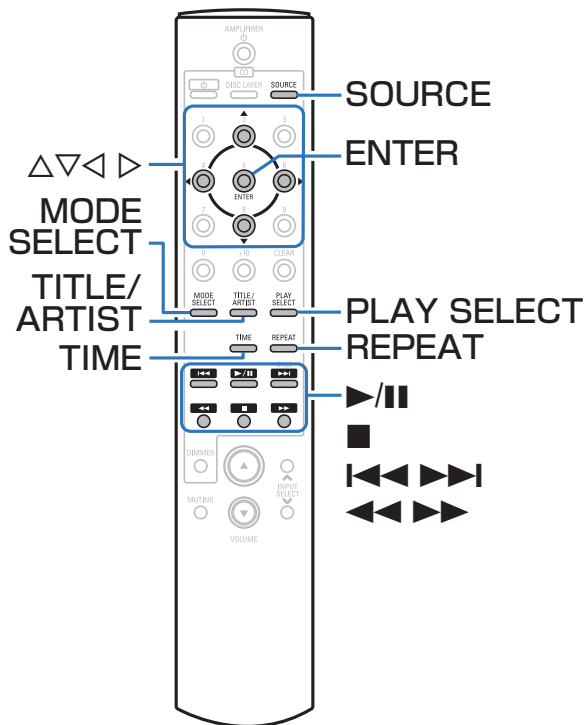
2 ▶/IIを押す。

ランダム再生をはじめます。



- 再生中にPLAY SELECTを押しても、再生モードを“Random”にできません。

データCDまたはデータDVDを再生する



- ここでは、CD-R/-RWおよびDVD-R/-RW/+R/+RWに記録している音楽ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3形式やWMA (Windows Media[®] Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）をCD-R/-RWおよびDVD-R/-RW/+R/+RWに書き込むことにより、本機で再生できます。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

- 本機で再生できるファイルの種類は、次のとおりです。詳しくは、「再生できるファイルの仕様」(P.66ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- AAC
- FLAC
- ALAC
- AIFF
- DSD

ファイルを再生する

- 1 音楽ファイルを記録してあるCD-R/-RWまたはDVD-R/-RW/+R/+RWをディスクトレイに入れる。(🔗70ページ)
 ・本体の ▲ を押すとディスクトレイが開閉します。
- 2 SOURCEを押して、再生するメディアモードを“DISC”にする。(🔗28ページ)
- 3 △▽◀ を押してフォルダを選び、ENTERを押す。
- 4 △▽ を押してファイルを選び、ENTERを押す。
 再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/次の曲の先頭にスキップ
⏮ ⏭	早戻し/早送り
◀	1つ上の階層に移動
△▽	項目の選択
ENTER	項目の決定/ファイルの再生
MODE SELECT	曲の再生範囲の選択
PLAY SELECT	ランダム再生モードの選択 ・プログラム再生モードは設定できません。
REPEAT	リピート再生 ・全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
TIME	再生中の経過時間およびファイルフォーマットの表示を切り替えます。
TITLE/ARTIST	ファイルに記録されているテキスト情報を表示します。



- ・CD-R/-RWまたはDVD-R/-RW/+R/+RW再生中に別のファイルを再生する場合、◀ を押して階層表示をおこない、△▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTERを押してください。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中にTITLE/ARTISTを押す。

- 曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。
- テキスト情報に対応しないファイルや曲名が記録されていないファイルの場合、ファイル名を表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
!"#\$%&:;<>?@\[_`{|}~^'()*+
,-. / = (空白)

- 本機はディスク読み込み時に、フォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

ご注意

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
また、書き込みソフトやその他の要因により、再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

■ 再生できるファイルについて

「再生できるファイルの仕様」(P.66ページ)をご覧ください。

■ 再生範囲を切り替える

停止中にMODE SELECTを押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

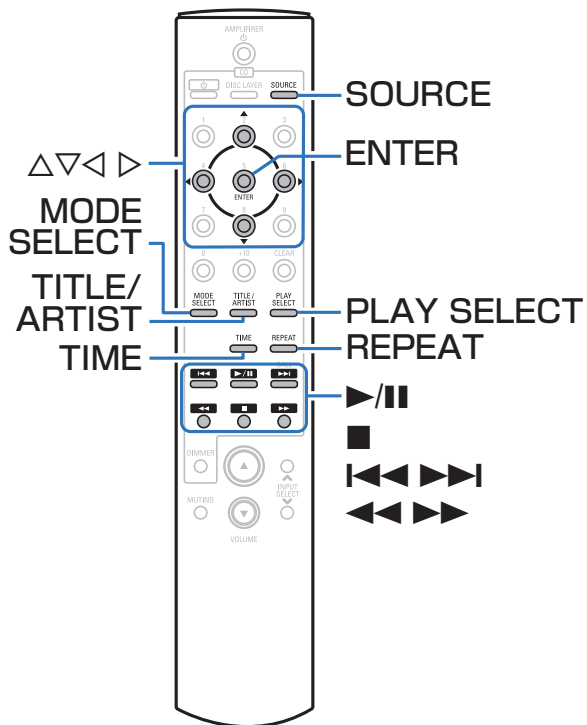
Folder mode :	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
---------------	------------------------

All mode :	ディスク内のすべての曲を再生します。
------------	--------------------



- 再生範囲を“All mode”にすると、フォルダの階層を表示しません。

iPodを再生する



- iPodに付属しているUSBケーブルを使用してiPodを本機のUSB端子（タイプA）に接続すると、iPodの音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できるiPodは、「対応しているiPod/iPhone」（[P.23ページ](#)）をご覧ください。

iPodの曲を再生する

1 iPodをUSB端子（タイプA）に接続する。 (22ページ)

自動的にメディアモードを“iPod/USB”に切り替え、再生をはじめます。

本体のディスプレイに“From iPod”を表示します。

2 iPodの画面を見ながら直接iPod本体を操作して、音楽を再生する。



- iPodの表示モードには、“From iPod”と“On-Display”があります。お買い上げ時の設定は、iPodの画面を見ながら直接iPod本体を操作する“From iPod”です。

ご注意

- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

オペレーションモードの設定 (On-Displayモード)

iPodの各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。

ここでは、“On-Display”でiPod内の曲を再生するまでの手順を説明します。

1 MODE SELECTを押して、本体のディスプレイに“On-Display”を表示させる。

iPodブラウズモード		From iPod	On-Display
再生できる ファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できる ボタン	本機の リモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

2 △▽を押して再生したいファイルを選び、ENTERを押す。 再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/II	再生/一時停止
■	停止
I◀◀▶▶I	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/次の曲の先頭にスキップ
◀◀▶▶	早戻し/早送り
PLAY SELECT	ランダム再生モードの選択 - iPod内の全曲をランダム再生する“SONGS”と単一アルバム内をランダム再生する“ALBUMS”を選択できます。 - プログラム再生モードは設定できません。
REPEAT	リピート再生 全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
MODE SELECT	iPod操作モードの設定 “From iPod”と“On-Display”を切り替えます。
△▽◀▶	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
TIME	経過時間の表示
TITLE/ARTIST	曲名、アーティスト名およびアルバム名表示の切り替え

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中にTITLE/ARTISTを押す。

- 曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!"#\$%&:;<>?@\[_`{|}~^'()*+
,-. / = (空白)

ご注意

- 万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

iPod/iPhone の充電

iPodやiPhoneを本機のUSB端子に接続すると、充電ができます。

■ スタンバイ充電

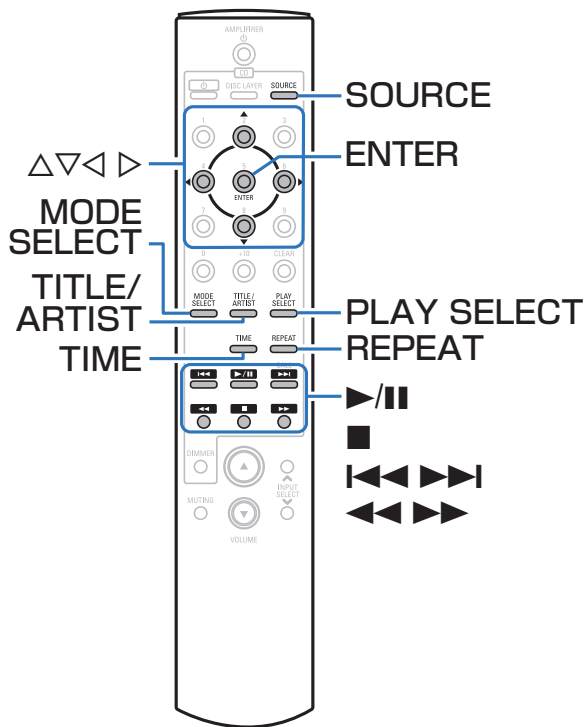
iPodやiPhoneを充電中に本機の電源がスタンバイになった場合、本機はスタンバイ充電モードに切り替わり、iPodやiPhoneを充電します。スタンバイ充電モードでは、電源表示が橙色に点灯します。

iPodやiPhoneを完全に充電すると、電源表示が赤色に点灯し通常のスタンバイ状態になります。



- オートスタンバイモードの設定が“オン”の場合は、充電完了後に電源表示が消灯します。

USBメモリーを再生する



- USBメモリーに保存された音楽ファイルを再生します。
- 本機は、マストストレージクラスに対応しているUSBメモリーのみ再生できます。
- USBメモリーは、FAT16またはFAT32フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できるファイルの種類は、次のとおりです。
詳しくは、「再生できるファイルの仕様」(P.67ページ)をご覧ください。
- WMA
- MP3
- WAV
- AAC
- FLAC
- ALAC
- AIFF
- DSD

USBメモリーに保存されているファイルを再生する

1 USBメモリーを本機のUSB端子（タイプA）に接続する。（ 22ページ）

自動的にメディアモードを“iPod/USB”に切り替え、再生をはじめます。

2 ◀ を押す。

本体のディスプレイにファイル/フォルダリストを表示します。



- ・■を押して再生を停止しても、ファイル/フォルダリストを表示します。

3 △▽ を押してフォルダを選び、ENTERを押す。

4 △▽ を押してファイルを選び、ENTERを押す。 再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/次の曲の先頭にスキップ
⏮ ⏭	早戻し/早送り
◀	1つ上の階層に移動
△▽	項目の選択
ENTER	項目の決定/ファイルの再生
MODE SELECT	曲の再生範囲の選択
PLAY SELECT	ランダム再生モードの選択 ・プログラム再生モードは設定できません。
REPEAT	リピート再生 ・全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
TIME	再生中の経過時間およびファイルフォーマットの表示を切り替えます。
TITLE/ARTIST	ファイルに記録されているテキスト情報を表示します。

■再生できるファイルについて

「再生できるファイルの仕様」（ 67ページ）をご覧ください。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中にTITLE/ARTISTを押す。

- 曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。
- テキスト情報に対応しないファイルや曲名が記録されていないファイルの場合、ファイル名を表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!"#\$%&:;<>?@\[\]_`{|}~^'()*+

,-. / = (空白)

ご注意

- USBメモリーを本機と接続して使用しているときに、万一USBメモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■ 再生範囲を切り替える

停止中にMODE SELECTを押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

Folder mode :	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
---------------	------------------------

All mode :	USBメモリー内のすべての曲を再生します。
------------	-----------------------



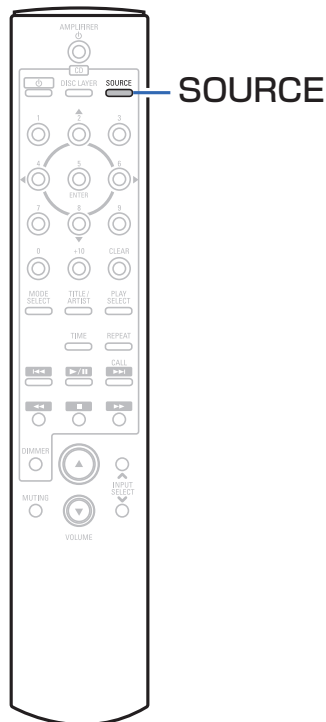
- 再生範囲を“All mode”にすると、フォルダの階層を表示しません。

■ レジューム機能

USBメモリーの再生中に、再生するメディアモードの切り替えやUSBメモリーの抜き差し、または電源の入れ直しをおこなった場合、再生を中断した曲（レジューム情報）を記憶し、その曲の最初から再生することができます。

- USBメモリーを取り外してから再び接続してもレジュームしますが、別のUSBメモリーを接続すると以前のUSBメモリーのレジューム情報は消去されます。
- USBメモリーを取り外してファイルの追加や削除をおこなった場合、レジューム情報が消去されることがあります。
- レジューム情報を消去するには、停止中に■を押してください。“Resume Off”と表示されます。

本機をD/Aコンバーターとして使用する



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます（D/Aコンバーター機能）。

- DSDは、登録商標です。
- Microsoft、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1とWindows 10は、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Apple、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

パソコンの音楽を再生する (USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルをUSB接続で本機に入力すると、本機に搭載しているD/Aコンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンをUSB接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OSをご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン（推奨システム）

OS

- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10
- Mac OS X 10.9、10.10 および10.11

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver.2.0

ご注意

- 当社にて推奨システムとの動作確認をしておりますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

Windows
OS

専用ドライバーソフトのインストール
(Windows OSのみ) ( [45ページ](#))

Mac
OS

オーディオ装置の確認 (Mac OS Xのみ)
( [50ページ](#))

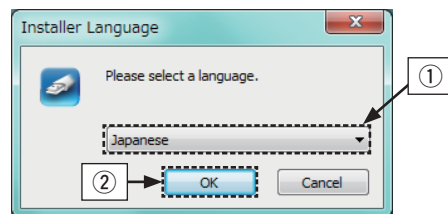
■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OSのみ)

□ パソコンへドライバーソフトをインストールする方法

- 1 本機とパソコンのUSB接続を外す。
 - 本機とパソコンをUSB接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
 - パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機とUSB接続してパソコンを立ち上げた場合、USB接続を外して、パソコンを再起動してください。
- 2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイトDCD-SX11のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。
- 3 ダウンロードファイルを解凍し、exeファイルをダブルクリックする。

4 ドライバーソフトをインストールする。

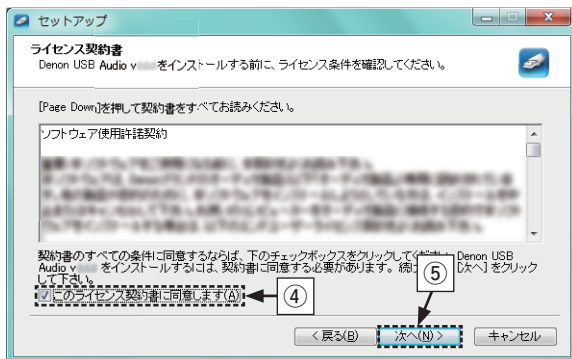
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK” をクリックする。



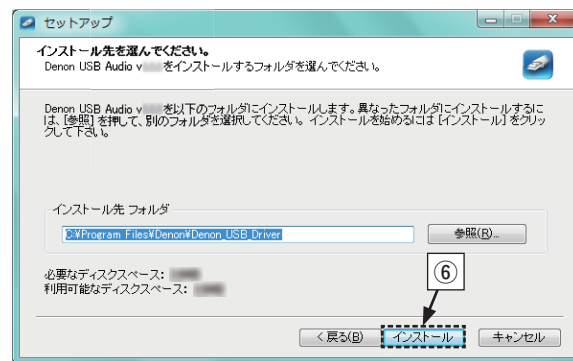
- ③ ウィザードメニューが表示されたら“次へ(N)”をクリックする。



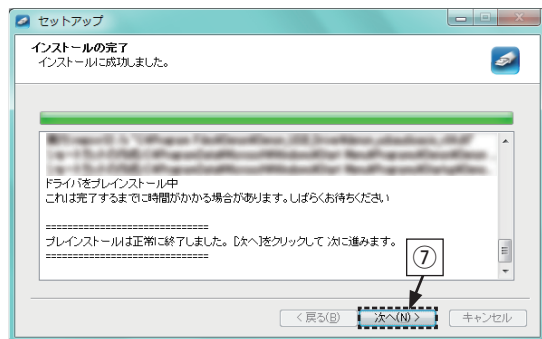
- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“このライセンス契約書に同意します(A)” を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)” をクリックする。



- ⑥ インストール先フォルダを選択し、“インストール” をクリックする。
- ・インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



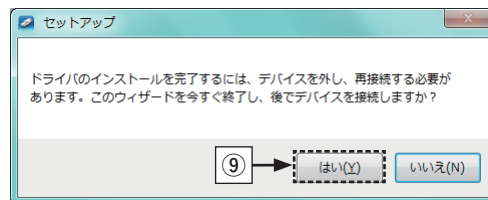
⑦ “次へ(N)” をクリックする。



⑧ インストール終了画面を表示したら “完了(F)” をクリックする。



⑨ “はい(Y)” をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンをUSBケーブル（別売り）で接続する。

・接続のしかたは「パソコンと接続する」（[P.21](#)ページ）をご覧ください。

6 本機の **ON** を押す。

・本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 SOURCEを押して、再生するメディアモードを“USB-DAC”にする。

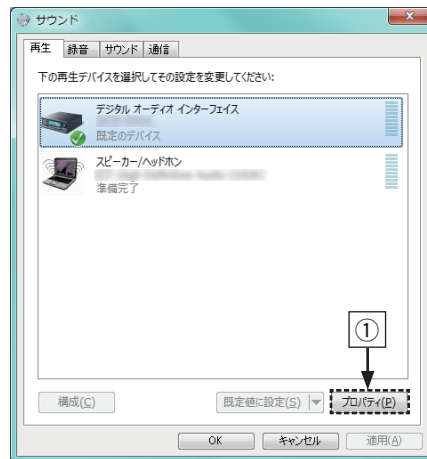
8 インストールしたドライバーを確認する。

- ① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“デジタルオーディオインターフェース”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“DCD-SX11”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

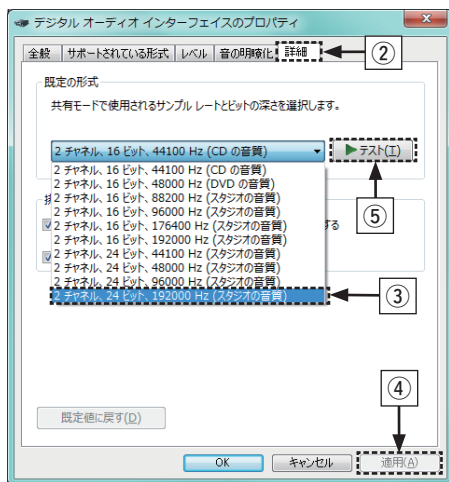
9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力してUSB-DAC機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“デジタルオーディオインターフェース”を選び、“プロパティ(P)”をクリックする。
 - デジタルオーディオインターフェースのプロパティ画面を表示します。



- ② “詳細” タブをクリックする。
- ③ D/A変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
 - お使いのパソコンのOSによって、次の設定にすることをすすめます。
 - Windows 7 :
“2チャンネル、24ビット、192000Hz (スタジオの音質)”
 - Windows 8/Windows 8.1/Windows 10 :
“2チャンネル、32ビット、192000Hz (スタジオの音質)”
- ④ “適用(A)” をクリックする。
- ⑤ “テスト(T)” をクリックする。
 - 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。

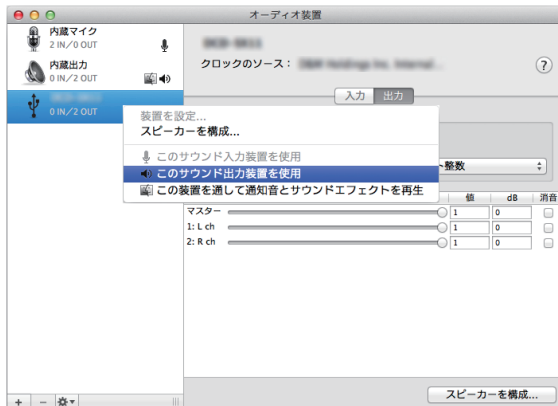


ご注意

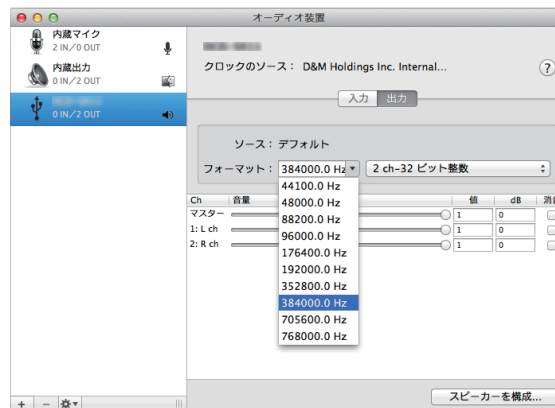
- 専用ドライバーはパソコンと本機をUSB接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- 専用ドライバーを使用してサンプリング周波数が352.8kHz以上のファイルを再生する場合は、Audio Stream Input Output (ASIO) ドライバー経由でご使用ください。ASIOドライバー経由での再生の方法は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、<http://denon.jp/jp/html/faq.html>のFAQをご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

■ オーディオ装置の確認 (Mac OS Xのみ)

- ① パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
 - ・ユーティリティの一覧を表示します。
- ② “Audio MIDI設定”をダブルクリックする。
 - ・“オーディオ装置”画面を表示します。
- ③ “DCD-SX11”に、このサウンド出力装置を使用のチェックマークがあることを確認する。
 - ・他のデバイスにチェックマークがあるときは、“DCD-SX11”を選択してから副ボタンクリックして、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



- ④ “DCD-SX11”のフォーマットを選択する。
 - ・“384000.0Hz”、“2ch-32ビット整数”に設定することをおすすめします。



- ⑤ Audio MIDI 設定を終了する。

■再生のしかた

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルのUSB-DAC端子（タイプB）にパソコンを接続してください。

（「パソコンと接続する」（[P.21ページ](#)））

1 SOURCEを押して、再生するメディアモードを“USB-DAC”にする。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

USB : xxx.xk または USB : DSD x.xM

（xxxxにはサンプリング周波数を表示します。）

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

■再生できるファイルについて

「D/Aコンバーター」（[P.69ページ](#)）をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- 再生ソフトによっては、音量およびイコライザーの調整もできます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機がD/Aコンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続をはずすと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続をはずしてください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には3m以下のケーブルをご使用ください。

デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)

1 本機にデジタル機器を接続する。(🔗20ページ)

2 SOURCEを押して、再生するメディアモードを“COAXIAL”または“OPTICAL”にする。
入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

COAX : xxxxk または OPT : xxxxk

(xxxxにはサンプリング周波数を表示します。)

- リニアPCM信号を検出すると、L.PCM表示が点灯します。
- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

■ 再生できるファイルについて

「D/Aコンバーター」(🔗69ページ)をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AACなどのリニアPCM以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS放送のAモードからBモードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

タイマー再生をおこなう

タイマーを使用して再生する

- 1 接続した各機器の電源を入れる。(🔌 24ページ)
- 2 アンプの入力ソースを本機に切り替える。
- 3 本機にディスクを入れるか、USB端子（タイプA）にUSBメモリーまたはiPodを接続する。
- 4 オーディオタイマーを希望時刻に設定する。
 - ・オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 5 オーディオタイマーを“オン”に設定する。
 - ・オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。
 - ・設定した時刻になると、自動的に各機器の電源が入り、1曲目から再生をはじめます。

ご注意

- ・タイマー再生では、ランダム再生およびプログラム再生はできません。

設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する

オートスタンバイモードをオンに設定すると、何も操作せずに停止した状態や入力信号がない状態が約30分続いた場合に、本機は自動でスタンバイモードになります。
お買い上げ時はオフに設定しています。



オートスタンバイモードをオンにする

- 1 電源ボタンを5秒以上押して、オートスタンバイモードをオンにする。

電源表示が3回点滅します。

オートスタンバイモードをオフにする

- 1 電源ボタンを5秒以上押して、オートスタンバイモードをオフにする。

電源表示が3回点滅します。



- 電源がオンのときにオートスタンバイモードの設定操作をおこなうと、設定完了と同時に本機はスタンバイになります。
- 本機でiPodの充電中に本機の電源をスタンバイにしても、iPodの充電が続けます。

困ったときは

目次

■ こんなときの解決方法..... (56)	■ 故障かな？と思ったら..... (57)
アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい..... (56)	電源が入らない/電源が切れる..... (57)
特定のフォルダのみを再生したい..... (56)	リモコンで操作ができない..... (58)
現在再生しているiPodの曲情報（曲名など）を 本体のディスプレイに表示させたい..... (56)	本機のディスプレイが表示されない..... (58)
スーパーオーディオCDのテキストを表示したい..... (56)	音がまったく出ない..... (58)
スーパーオーディオCDのマルチチャンネルエリアを再生したい..... (56)	音が途切れたり、ノイズが入ったりする..... (59)
DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RWまたはUSBメモリー内の すべての曲をランダムに再生したい..... (56)	音の位相が反転している..... (59)
	ディスクが再生できない..... (59)
	パソコン内のファイルを再生できない..... (60)
	デジタル機器の音声を再生できない（Coaxial/Optical）..... (61)
	iPodが再生できない..... (61)
	USBメモリーが再生できない..... (61)
	iPodやUSBメモリー内のファイル名が正しく表示されない..... (62)

こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい

- ピュアダイレクトの設定をおこない、デジタル出力とディスプレイ表示をオフにしてください。（ [28ページ](#)）

特定のフォルダのみを再生したい

- MODE SELECTボタンを押して、再生モードを“Folder Mode”に設定してください。
（「再生範囲を切り替える」（ [35ページ](#)、 [42ページ](#)））

現在再生しているiPodの曲情報（曲名など）を本体のディスプレイに表示させたい

- MODE SELECTボタンを押して、表示モードを“On-Display”に設定してください。（ [38ページ](#)）

スーパーオーディオCDのテキストを表示したい

- 本機はスーパーオーディオCDのテキスト情報表示に対応しています。TITLE/ARTISTボタンを押して表示情報を切り替えてください。（ [31ページ](#)）
- テキスト表示中に収録時間の表示に切り替えるときは、TIMEを押してください。

スーパーオーディオCDのマルチチャンネルエリアを再生したい

- 本機はマルチチャンネルを2チャンネルにダウンミックスして再生できます。DISC LAYERボタンを押して、“MULTI”に設定してください。（ [29ページ](#)）

DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RWまたはUSBメモリー内のすべての曲をランダムに再生したい

- あらかじめMODE SELECTボタンを押して、再生モードを“All Mode”に設定し（「再生範囲を切り替える」（ [35ページ](#)、 [42ページ](#)））、ランダム再生（ [32ページ](#)）をおこなってください。

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
電源が入らない。	- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。 - スタンバイモードになっています。本機およびリモコンの  を押してください。	25 27
電源が自動的に切れる。	オートスタンバイモードがオンになっています。オートスタンバイモードでは本機が停止状態で何も操作しない状態が30分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。	54
USBメモリーを接続すると電源が切れ、電源表示が約0.25秒間隔で赤色に点滅する。	- 本機が対応していないUSBメモリーです。動作負荷電流1A以下のものをご使用ください。 - 本機からUSB経由で供給できる電力を超えています。本体の  を押して電源を切り、USBメモリーを外してから電源を入れなおしてください。	— —

■ リモコンで操作ができない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。 - リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。 - 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。 - 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。 - 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや 3D 視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	6 6 — 6 — —

■ 本機のディスプレイが表示されない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	- DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。 - ピュアダイレクトモードをオンにすると、ディスプレイが消灯します。	28 28

■ 音がまったく出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	- すべての機器の接続を確認してください。 - 接続ケーブルを奥まで挿してください。 - 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。 - ケーブルが破損していないか確認してください。 - アンプのファンクションを確認し、適切に調節してください。	17 — — — —

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
USBメモリー再生中に音が途切れる。	・USBメモリーの転送速度が遅いとき、音が途切れることがあります。	—
CD-R/CD-RW再生中に音が途切れる。	・ハイレゾリレーション音源が記録されたCD-R/CD-RWを再生すると、音が途切れることがあります。	—
パソコンの曲を再生中に音が途切れる。	・ご使用のパソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、音が途切れることがあります。	—

■ 音の位相が反転している

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
バランス音声接続で音の位相が反転している。	・接続する機器側の位相を確認して位相を合わせてください。バランス出力位相切り替えスイッチの設定を変更する場合は、電源コードを抜くか、本体の  を押して電源を切ってからおこなってください。	<u>18</u>

■ ディスクが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
再生ボタンを押しても再生しない。または、ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	・ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	<u>71</u>
DVD-R/-RW/+R/+RWまたはCD-R/-RWが再生できない。	・ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。 ・記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。 ・本機が対応していないフォーマットのファイルが記録されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	<u>65</u> 、 <u>73</u> — <u>66</u>

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
“Unsupported” と表示される。	・再生できないディスクを入れた場合には、“Unsupported” を表示します。	70
“No Disc” と表示される。	・ディスクを裏返しに入れた場合やディスクが入っていない場合には、“No Disc” を表示します。	70

■ パソコン内のファイルを再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	・ご使用のパソコンのUSB端子にUSBケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別のUSB端子に挿してください。 ・ご使用のパソコンを再起動してください。 ・ご使用のパソコンのOSを確認してください。 ・ご使用のパソコンがWindowsの場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。	21 – 44 45
再生デバイスとして本機が選択されていない。	・パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。	44
“Unlocked” と表示される。	・デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked” を表示します	44
“Unsupported” と表示される。	・本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。 ・ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI設定”で、“DCD-SX11”のフォーマットが“384000.0Hz”以下に設定されているか、確認してください。	44 50

■ デジタル機器の音声を再生できない (Coaxial/Optical)

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
“Unlocked” と表示される。	・ デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked” を表示します	52
“Unsupported” と表示される。	・ 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。	52

■ iPodが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
iPodが接続できない。または“Err1:Unsupported” と表示される。	・ USB端子 (タイプA) にiPodを接続してご使用になる場合、対応していないiPodがあります。 ・ iPodの接続に純正以外のUSBケーブルをご使用になると、iPodを認識できない場合があります。純正のUSBケーブルを使用してください。	22 —

■ USBメモリーが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
“No USB Device”、 “Err1:Unsupported” または “Err3:hub unsupported” と表示される	・ 接続不良などで、本機がUSBメモリーを認識できない場合があります。USBメモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。 ・ マスストレージクラスのUSBメモリーに対応しています。 ・ USBハブを経由した接続はできません。USBメモリーはUSB端子(タイプA)に直接接続してください。 ・ USBメモリーのフォーマットをFAT16またはFAT32に設定してください。 ・ すべてのUSBメモリーの動作は保証できません。一部のUSBメモリーは認識できない場合があります。また、ACアダプターから電源供給できるタイプのUSB接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクにACアダプターを接続して使用してください。	22 — — — —

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
USBメモリー内のファイルを表示しない。または“Err2:No playable files”と表示される。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。 • 本機が表示できるファイル構成は最大 8 階層、フォルダ数は最大 1,000 個、1 つのフォルダに含まれるファイル数は最大 2,000 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。 • USB メモリーに複数のパーティーションがある場合、先頭のパーティーションのファイルのみを表示します。	67 –
USBメモリー内のファイルを再生できない。	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。 • 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	67 –
“.”で始まるファイルが再生できない。	• Mac の OSX などで作成したコンテンツを USB メモリーにコピーした場合、隠しファイルも同時にコピーされます。このファイルは拡張子はコンテンツの拡張子と同じ表示をしますが、実際はコンテンツではありません。Windows PC などではファイルを削除してください。	–

■ iPodやUSBメモリー内のファイル名が正しく表示されない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ファイル名が“...”など、正しく表示されない。	• 本機で表示できない文字は、“.”（ピリオド）に置き換えて表示します。	–

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から2年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

再生できるメディア

ディスク

再生できるメディア	
スーパーオーディオCD	
CD	
CD-R	
CD-RW	
DVD-R/-RW/+R/+RW	

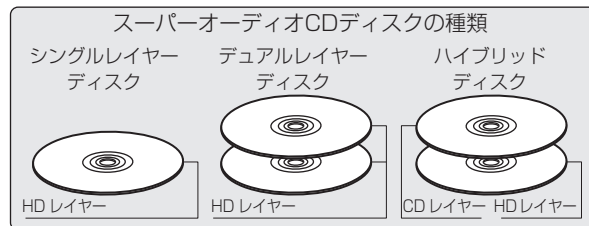
スーパーオーディオCD (SACD)

スーパーオーディオCDには次の3つの種類があります。

- ① シングルレイヤーディスク
HDレイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオCDです。
- ② デュアルレイヤーディスク
HDレイヤーが二層構造のスーパーオーディオCDです。高音質で長時間の再生ができます。

③ ハイブリッドディスク

HDレイヤーとCDレイヤーの二層構造のスーパーオーディオCDです。CDレイヤーの内容は通常のCDプレーヤーで再生することができます。



HDレイヤーとは、スーパーオーディオCD用の高密度信号層のことです。

CDレイヤーとは、通常のCDプレーヤーで読み取り可能な層のことです。



DISC LAYERボタンで“MULTI”を選択した場合は、LチャンネルとRチャンネルにダウンミックスした音声を出力します。

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	再生できるディスクの種類			拡張子
				CD-R/ CD-RW	DVD-R/ DVD-RW	DVD+R DVD+RW	
MP3	32/44.1/48kHz	32～320kbps	－	○	○	○	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	48～320kbps	－	○	○	○	.wma
AAC	32/44.1/48kHz	16～320kbps	－	○	○	○	.m4a/.aac
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	－	16/24ビット	○*2	○	○	.wav
FLAC	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	－	16/24ビット	○*2	○	○	.flac
ALAC*1	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	－	16/24ビット	○*2	○	○	.m4a
AIFF	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	－	16/24ビット	○*2	○	○	.aif/.aiff
DSD	2.8/5.6MHz	－	1ビット	－	○	○	.dff/.dsf

*1 Copyright [2012] [D&M Holdings, Inc.]

Apache License Version 2.0 (「本ライセンス」) に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記のURLから入手できます。

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

*2 この項目は、再生できるファイルのサンプリング周波数が32/44.1/48kHzのみとなります。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数：1,000個

1つのフォルダに含まれる最大ファイル数：2,000個

ご注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できます。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCD などからリッピングする際にWMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- サンプリング周波数が32kHzのファイルを再生中は、デジタル音声出力を停止します。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

USBメモリー

■ USB対応ファイルシステム

FAT16またはFAT32

- USBメモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

■ タグ情報

ID3タグ (Ver.1.xと2.x)

WMA-TAG

(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング 周波数	ビット レート	ビット数	拡張子
MP3	32/44.1/48kHz	32~ 320kbps	—	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	48~ 320kbps	—	.wma
AAC	32/44.1/48kHz	16~ 320kbps	—	.m4a/ .aac
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	—	16/24 ビット	.wav
FLAC	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	—	16/24 ビット	.flac
ALAC	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	—	16/24 ビット	.m4a
AIFF	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	—	16/24 ビット	.aif/ .aiff
DSD	2.8/5.6MHz	—	1ビット	.dff/ .dsf

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数：1,000個

1つのフォルダに含まれる最大ファイル数：2,000個



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できません。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCD などからリッピングする際にWMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- サンプリング周波数が32kHzのファイルを再生中は、デジタル音声出力を停止します。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

ご注意

- 本機はMP3プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などのUSB機器には対応していません。
- 本機はUSB機器の充電に対応していません。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RWおよびUSBメモリー

DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RWおよびUSBメモリーに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ……、の順番に再生します。



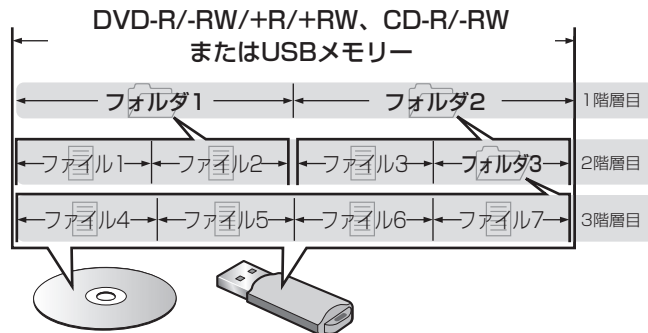
- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- DVD-R/-RW/+R/+RWおよびCD-R/-RWのライティングソフトによっては、再生する順番が変わる場合があります。

ご注意

- USBメモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

フォルダとファイルについて

DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RWおよびUSBメモリーに記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り（フォルダ）と小さな区切り（ファイル）に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は8階層まで認識できます。



- 音楽ファイルをCD-R/-RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

D/Aコンバーター

■再生できる音声信号の仕様

USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD (2チャンネル)	2.8/5.6/11.2MHz	1ビット
リニアPCM (2チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/ 352.8/384kHz	16/24/32 ビット

ご注意

- DSD信号、サンプリング周波数が352.8/384kHzのリニアPCM信号の再生中は、デジタル音声出力を停止します。

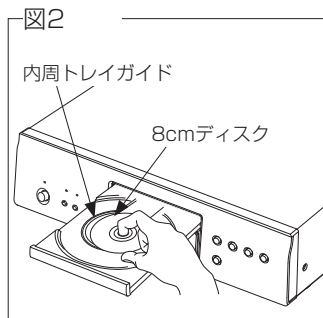
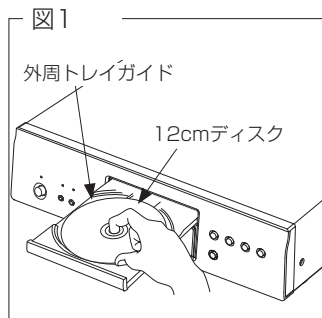
Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニアPCM (2チャンネル)	32/44.1/48/64/ 88.2/96/176.4/192kHz	16/24 ビット

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド(図1)に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド(図2)に合わせて、水平に載せてください。



- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。



- 再生できないディスクを入れた場合には、“Unsupported” を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“No Disc” を表示します。

ご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



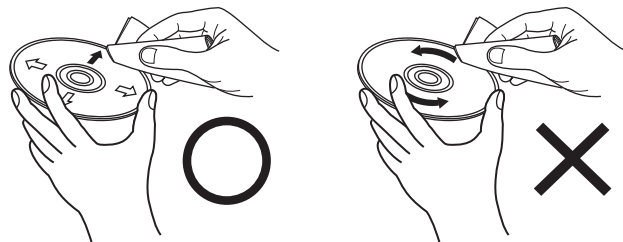
- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

メディアの取り扱いについて

- ・指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ・ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- ・曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ・ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ・ディスクのレーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ・ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴が付く ことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かささないでください。
- ・USBメモリーの再生中にUSBメモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしたりしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- ・USBメモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- ・静電気によって、USBメモリーやファイルが壊れることがあります。USBメモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- ・変形したUSBメモリーを使用しないでください。
- ・ご使用後は、必ずディスクやUSBメモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- ・次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ・ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ・ふき取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。円周に沿ってはふかない。

ご注意

- ・レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

用語の解説

A

Advanced AL32 Processing Plus

デノン独自のアナログ波形再現技術です。

16bitのデジタルデータを32bitに拡張することで微小信号の再現性を高めました。

AIFF(Audio Interchange File Format)

非圧縮ロスレス方式のデジタル音声ファイルフォーマットです。AIFFファイルは、読み込んだ曲から高音質オーディオCDを作成する場合に使用します。AIFFファイルは、1分あたり約10MBのディスク領域を使用します。

ALAC (Apple Lossless Audio Codec)

アップル社が開発した音声データ可逆圧縮方式のコーデックです。iTunesやiPhone、iPodで再生できます。約60～70%に圧縮されたデータを完全に元通りのデータに再現します。

D

DSD (Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオCDにオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。2.8MHzのサンプリングレートの単一ビット値の配列で構成されています。

F

FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。

FLACのライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004,

2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

M

MP3 (MPEG Audio Layer 3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽CD並の音質を保ったままデータ量を約1/11に圧縮できます。

MPEG (Moving Picture Experts Group) 、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

W

WMA (Windows Media Audio)

米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Playerを使用してエンコード（符号化）することができます。

WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

さ行

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数と呼び、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

た行

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ダウンミックス

サラウンド音声のチャンネル数を、より少ないチャンネル数に変換して再生する機能です。

は行

ビットレート (Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビット処理したかを表わします。

ピュアダイレクト (Pure direct)

表示部およびデジタル出力をオフにして、音声信号をより高音質で再生することができる機能です。

ファイナライズ

DVD/CDなどのレコーダーで収録したディスクを、ほかのプレーヤーで再生できるようにするための処理です。

ら行

リニアPCM

圧縮していないPCM (Pulse Code Modulation) 信号です。CDの音声と同じ方式ですが、BDやDVDでは192kHz、96kHz、48kHzなどのサンプリング周波数を用いており、CDよりも高音質の音声を楽しめます。

登録商標について



“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance. iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle およびiPod touchは、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

主な仕様

■ オーディオ特性

・アナログ出力

チャンネル：

再生周波数範囲：

再生周波数特性：

S/N比：

ダイナミックレンジ：

高調波歪率：

ワウ・フラッター：

出力レベル：

信号方式：

サンプリング周波数：

使用可能ディスク：

・デジタル出力

同軸出力：

光出力：

発光波長：

[スーパーオーディオ CD]

2チャンネル

2Hz～100kHz

2Hz～50kHz (−3dB)

120dB (可聴帯域)

114dB (可聴帯域)

0.0006% (1kHz、可聴帯域)

測定限界以下

2.0V (10kΩ)

1ビットDSD

2.8224MHz

スーパーオーディオCD

—

—

—

[CD]

2チャンネル

2Hz～20kHz

2Hz～20kHz (±0.5dB)

118dB

101dB

0.0015% (1kHz)

測定限界以下

2.0V (10kΩ)

16ビット リニアPCM

44.1kHz

CD

0.5Vp-p/75Ω

−15～−21dBm

660nm

・デジタル入力信号フォーマット

フォーマット：

デジタルオーディオインターフェース（リニアPCM）

同軸入力：

0.5Vp-p/75Ω

Optical

光入力：

-27dBm以上

波長：

660nm

■ 総合

電源:

AC100V、50/60Hz

消費電力:

31W

スタンバイ時の消費電力:

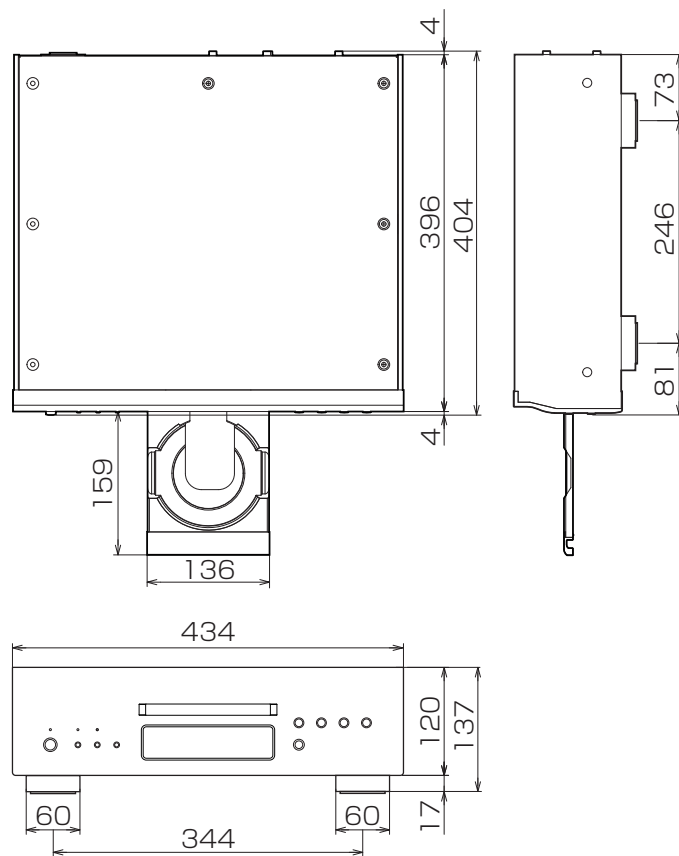
0.2W（オートスタンバイモード オフ時（お買い上げ時の設定））

0.1W以下（オートスタンバイモード オン時）

*仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法

単位：mm



■ 質量：21.4kg

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付属

索引

🔍 A

Advanced AL32 Processing Plus 72

🔍 お

オートスタンバイ 54

🔍 こ

故障かな？と思ったら..... 57

こんなときの解決方法..... 56

🔍 さ

再生

CD 30

iPod..... 36

MP3..... 33

USB-DAC 44

USBメモリー..... 40

WMA 33

スーパーオーディオCD..... 30

データCD..... 33

再生モード

プログラム再生 32

ランダム再生 32

リピート再生 15

🔍 せ

接続

AVレシーバー 19

CDプレーヤー 20

D/Aコンバーター 19

iPod..... 22

USBメモリー 22

アンプ..... 18

オーディオタイマー..... 24

電源コード..... 25

パソコン..... 21

🔍 た

ダイレクト選曲 31

🔍 て

ディスプレイ 11

ディスプレイの明るさ..... 28

🔍 と

ドライバソフトのインストール 45

🔍 ひ

ピュアダイレクト 28、73

🔍 ふ

フロントパネル 9

🔍 ほ

保証と修理について 63

🔍 め

メディアモードの選択..... 28

🔍 り

リアパネル..... 12

リモコン..... 13

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 **0570 (666) 112**

FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 9:30 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  **050 (3388) 6801**
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
<http://denon.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 **0570 (666) 811**

- 受付時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  **0466 (86) 9520**
- 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://denon.jp/jp/html/service.html>
- 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市速藤2010-16
FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in Japan 5411 11324 40AS

Copyright © 2015 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.